



WEEKLY REPORT ROTARYCLUB OF hakusanisikawa

ガバナー方針：「ロータリーを楽しむ」 クラブターゲット：「分かちあおう ロータリーの楽しさを」

白山石川ロータリークラブ

2016年1月28日 678

会長：山本 篤 幹事：西川隆司

クラブ会報委員長：武藤一彦 副委員長：小柳善裕 委員 橋本恵子・小路昌弘・本島大昌・織部資子・川下英和
事務局/白山市西新町 159-2 松任産業会館 4階 TEL076-274-2907 FAX076-274-2908

Mail: info@hakusanishikawa-rc.jp HP: www.hakusanishikawa-rc.jp

会長挨拶

今日は2月6日(土)に行われます「世界に通用する青少年を育てる」と言う社会奉仕事業の最終打ち合わせを行います。今回は3回目でありまして、これらを集大成として、山内年度15周年の記念事業として発表したいと思っています。地区からも補助金を受けての事業でもあり、又、私はその中でも最も胸を張って自慢できる事業だと思っております。今日までの参加人数はまだ少なく、盛り上がりには今一つあります。クラブ一丸となって、是非とも成功裏に終わりたいと思っていますので、是非、一会员一組のご協力ををお願いいたします。

第22回米山功労者メジャードナー：福田裕会員

米山功労者メジャードナーとは

個人の特別寄付金の累計額が10万円に達したときに、第1回米山功労者として表彰され、感謝状が贈られます。第2回から第9回(20万円～90万円)に達した方を「米山功労者(マルチブル)」、第10回以上(100万円以上)の方を米山功労者(メジャードナー)と呼び、10万円ごとに感謝状、100万円ごとにピンバッジが贈られます。



幹事報告

ガバナー事務所 1月25日 文庫通信1月号 が届く。
石川第一分区B ガバナー補佐 辻 卓様 1月26日 ガバナー補佐訪問について及び ガバナー補佐訪問の確認及び伝達事項についてが届く。
ガバナー事務所 1月26日 2016年2月のレートのお知らせが届く。
ガバナー事務所 1月28日 1/30 日台R親善会議実行委員会 会場変更について 白山石川RC 福田 裕様宛が届く。

理事会報告：

12月に和田会員から退会届の提出があり、1月理事会で残念だったが、退会承認とした。今後、会員増強に努める。
金城大学の下口先生が3月に退職される。“青少年プロジェクト”にご協力いただいたので、例会にお呼びして、卓話ををしていただくこととした。スケジュールが詰まっており、2月4日とめた。

プログラム

【奉仕プロジェクト】塩野副委員長から説明



2月6日開催の“奉仕プロジェクト”について西田委員長に代わって説明します。

当日司会は永瀬会員、昨年12月中旬に松任、美川地区の小学校を回って校長先生にチラシ配布を依頼してきた。参加者は募集中だが、今年度2回

目の開催ということで、目玉として、中嶋委員長がかなり以前から計画していただいている。

白山市のALTのジョシュアさんに講師を依頼した。対象は小学校1～3年生の予定。

内容は 外国の文化と暮らし 数字で遊ぼう 今、何時？
英語の歌を歌おう

ジョシュアさんが実践していく好評なプログラムを今回取り入れて頂いた。

当日は、会員の参加人数に応じて役割分担するが、アンケート作成、会場設営、受付、駐車場係りなどですので、応援お願いします。2回目ということで力が入っています。趣旨は会長から説明があります。中嶋理事補足をお願いします。

【中嶋委員長】

1月23日地区社会奉仕委員会に出席してきた。前半の各クラブの社会奉仕事業の取り組み発表があった。大まかな概要は以下の2点。

社会奉仕事業を継続して行っているが、マンネリ化していく、新しいことをしたい
いと考えている
クラブが多い。
今年度から
地区の補助金が
使えるようにな
ったが、貰った
クラブと貰って
いないクラブが
ある。



前半で終わってしまったクラブが多いが、当クラブは2回目を実施す

る。

ここで、事業のおさらいですが、1回目は去年小学校低学年と保護者を対象として行った。

2回目は今年度10月実施でテーマは“海外に留学しませんか？大きな目を開いて世界に出て行ってください。”と小学校高学年から中高生に呼びかけた。RCは留学を応援しますよとの趣旨を伝えた。

3回目は1回目が父兄から好評だったことから、対象を小学校低学年とし、“英語で楽しく遊ぼう。”ということにした。

講師はALTのジョシュアさんで、英国イングランド出身。永瀬さんが面接して、積極的で好感が持てるということで、昨日西田会員宅で打ち合わせをした。話を聞いて非常に積極的で良い人だった。一般市民と関わりたいという気持ちが伝わってきた。今回予定のプログラムは彼らからの提案で積極的にあれもしたい、これもしたい・・・。歌のピアノ伴奏は以前もお願いした渡部先生に依頼してある。40分では時間が足りないくらいのプログラムです。体を動かしながら、遊ぶので机を撤去して、椅子のみで子供たちが自由に動けるようにする。受け入れ留学生のダニエル君の話は前回も非常に好評だったので、今回も依頼した。

頑張ってやっているが、残念ながら、現在17名+2,3名なのでぜひとも協力お願いします。各テーブルに第1回目の報告書を配布してあるが、塩野会員から提出済みで記事、編集等福田会員に協力いただいた。今回も作成予定。

ALTと接して思ったことは、彼らは一般市民と接触したがっているので、積極的に関わっていけばよいと思う。翌年につなげるなら、大いに利用すべきと思った。せっかく日本に来ても最後は面白くなくて、帰る時は交流もなくなり、母国に帰って、日本を悪く言う人もいると聞いたことがあるが、受け入れる側の問題もあると思った。

【山本会長】

委員会では一生懸命計画してやっているが、参加人数が今一つで残念だ。社会奉仕事業は基本的には、RCが何をしているかをPRする目的としての位置づけだ。1回目、2回目についてはリアルに海外留学について的を絞った形での開催だったが、今回はハードルを下げて、小学校低学年を対象にした。英語ができると将来的にも進路の幅が広がる。クラブが行っている海外留学事業をPRして、自分たちのクラブをアピールする目的なので、1会員1組の参加要請をお願いいたします。

【福田会員】

時間があるので、2月6日開催の青少年事業の補足として私なりの感想を述べさせていただきたい。

RCが事業をするということは、個人で行うのとは違い、しっかりとクラブを前面に出して、事業を披露することになるので、失敗は許されないということを皆が肝に銘じることが重要だ。事業で一番大変なのは、動員。本来はもっと早くから集めるべきだが、なかなか難しい。クラブとして一丸となっての取り組みが必要だ。



プラスの話として白山市には7,8人のALTがいるが、日本が大好きな若者ばかりだ。学校では補助員としての位置づけで、後は白山市に住む外国人の人というだけなので、市民が招き入れるということが大切だ。それが本来の国際交流の姿だと思う。何を海外に行くばかりでなく、こちらにいる人と触れ合うことも一環としてとらえられる。国際交流協会を通じ、交流する機会もある。ALTは日本の文化を学びたい、一般の人と触れ合いたいという気持ちが強い。

また、国際交流サロンでは日本語講座も開催され、ダニエルもお世話になっている。ぜひ、そのような場に青年交流委員長、担当理事などが出向いてこちらに来ている人をうまく事業に巻き込んでも良いのではないか。ALTとの人間関係が出来れば、協力も得やすくなり、また、このクラブへも招待できれば将来的に面白いのではないかとも思う。

出席報告

出席率71.42% 会員37名 出席者24名

メキャップ出席 1名

出席免除者4名(今井欣也・中川昭栄・浅野昭利・加藤功)



ニコニコボックスの発表

山本 篤会長 / 2月6日の社会奉仕事業「世界に通用する青少年を育てる」がスタートします。今回は3回目で15周年の記念事業として考えておりますので、会員の皆様のご協力お願いいたします。西川 隆司幹事 / 世界に通用する青少年を育てる~いよいよ来月6日に今年度2回目が迫りました。又、皆様のご協力お願いいたします。

野澤 誠治 / 社会奉仕委員会の皆様、今回もよろしくお願ひいたします。

中嶋 満 / 「2月6日 世界に通用する青少年を育てる」を盛り上げましょう。

高橋 昇二 / 今週火曜日の猪肉を食べる会に沢山の方々に参加して頂きありがとうございました。池元さんの計らいで三種類の鍋や美味しい料理の数々、休日の店を開いて頂き感謝しております。おまけにカラオケまで開放して頂いて皆さん楽しんで居られたようです。また、猪肉の美味しさに気付かれた方も多々居られたように思います。本当にありがとうございました。

浅野 昭利 / 本日は都合で欠席です。申し訳ありません。

本日合計 7,000円 今年度累計 537,600円